

# 認定鳥獣捕獲等事業者になるために必要な対応の概要

## 1. 認定を受けるための主な条件

### (1) 実績

- 法人としての捕獲等の実績(過去3年以内、対象とする鳥獣・猟法で適切に実施)

### (2) 安全管理規程の整備

- 緊急連絡体制、猟具の点検・取扱・保管の方法、定期的な射撃練習の計画(毎年2回以上)、従事者の心身の健康状態の把握方法等を記載すること

### (3) 事業管理責任者の要件

- 安全管理体制の確保、捕獲従事者の研修の実施に関する責任者
- 認定を受けようとする法人との雇用関係
- 狩猟免許の取得、安全管理講習・技能知識講習の修了、救急救命講習の受講

### (4) 捕獲従事者の要件

- シカ・イノシシ等の銃猟は原則10人以上(それ以外は、猟法ごとに原則4人以上)
- 狩猟免許・銃所持許可(銃による場合)の取得
- 安全管理講習・技能知識講習の修了

安全管理講習	5時間以上
--------	-------

技能知識講習	5時間以上
--------	-------

- 救急救命講習の受講(捕獲従事者の半数以上)
- 損害賠償保険への加入(賠償額:銃猟1億円、わな・網猟3,000万円以上)

### (5) 研修計画の作成

### (6) 夜間銃猟を実施する場合((1)~(5)に追加して必要となる要件)

- 夜間銃猟安全管理規程の整備
- 事業管理責任者→夜間銃猟安全管理講習の修了(5時間以上)
- 捕獲従事者→夜間銃猟安全管理講習の修了(5時間以上)、  
夜間銃猟の安全確保の技能(詳細については検討中)

## 2. 認定の申請

- 主たる事業所の所在地 / 主たる事業実施地がある都道府県に申請

➤ 認定証の交付(認定は3年間)

## 3. 認定を受けた後の事業者の責務

### (1) 安全管理体制の維持

### (2) 技能・知識の維持向上(研修の実施)